

# 鉄道

学年	科目名
1	鉄道概論
1	鉄道基礎
1	鉄道係員（⑨～⑮まで週2回）
1	鉄道施設概論（①～⑦まで週2回）
1	鉄道駅実務
1	鉄道業界研究
1	時刻表
1	国内地理
1	ペン字
1	就職活動講座
1	就職筆記対策Ⅰ
1	就職筆記対策Ⅱ
1	ビジネスマナー
1	TOEICⅠ・Ⅱ
1	英検対策Ⅰ・Ⅱ
1	第二外国語（韓国語）
2	鉄道概論
2	鉄道実務
2	鉄道車両Ⅰ
2	鉄道車両Ⅱ
2	鉄道業界研究
2	就職活動講座
2	就職筆記対策Ⅰ
2	就職筆記対策Ⅱ
2	面接対策
2	サービス接客検定対策
2	手話
2	コンピュータ
2	コミュニケーションイングリッシュ
2	第二外国語（中国語）
2	企業実習1～2

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わるフェールセーフについて学ぶ 鉄道保安装置の仕組みと役割を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全にかかわる規定、用語、装置を知ることにより鉄道の安全を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道輸送を安全に運行するための必要条件を学び「安全」に対する意識を高める				
2回	鉄道の安全について①	1.鉄道営業法について学ぶ 2.安全規範に対する教育を実感する 3.安全意識を高める教育について				
3回	鉄道の安全について②	1.鉄道重大事故から学ぶ安全に対する取り組みを学ぶ 2.ATSの概要を学び、鉄道運行の維持に対する各社の取り組みを理解する 3.ATSの種類を学び、各種の役割と特徴を理解する				
4回	鉄道の安全について③	1.コンプライアンスの鉄道事故について 2.過去から学ぶ安全について知る 3.過去の事例研究を行い、鉄道の安全意識を高める				
5回	鉄道の安全について④	1.ヒューマンエラーについて学ぶ 2.規則違反と不安全行動について学ぶ 3.運転事故について学ぶ				
6回	鉄道の安全について⑤	1.ハインリッヒの法則から学ぶ事故防止 2.エラータイプチェックによる個人診断 3.ヒヤリ・ハットについて学ぶ				
7回	鉄道の安全について⑥	1.軌道の概要を学び列車運行に対する安全対策を学ぶ 2.軌道の種類と使用目的の概要を知る 3.軌道設備の概要を知る				
8回	鉄道の安全について⑦	1.レールの製造から設置までの説明 2.レール輸送の概要説明 3.レールの種類と使用概要を知り、鉄道輸送に対する安全性を知る				
9回	鉄道用語	1.鉄道に関わる用語を知り鉄道に対する意識を深める 2.鉄道用語の意味 3.異常時に使われる鉄道用語				
10回	鉄道保安装置①	1.鉄道保安装置概要 ・保安装置の種類を学ぶ ・保安装置の役割を学ぶ				
11回	鉄道保安装置②	1.鉄道保安装置の構造を学ぶ ・地上設備を学ぶ ・用語の意味を理解することにより保安装置の理解を深める				
12回	鉄道車両紹介	1.鉄道車両概要 ・鉄道車両に対する省令を知ることにより、規定内容を同時に知る ・車両接触限界・車両建築限界の把握をする				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道基礎			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業務に必要な知識を習得し、資質の向上を図ることにより、社会的使命の達成に必要な識見と人格を形成する。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道の総合的な専門知識を習得すると共に、安全に対する意識を向上させる。				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2鉄道の定義や歴史、性質や種類について知る。			
2回	鉄道法規	1 鉄道営業法について学ぶ 2安全規範に対する教育を実感する 3.安全意識を高める教育について			
3回	鉄道の定義	1 鉄道の定義 2.交通の概念 3.日本の鉄道事業者			
4回	鉄道の歴史①	1.鉄道創世記 2.国鉄時代 3.国鉄からJRへ			
5回	鉄道の歴史②	1.JR創世記 2.JR輸送人員ピーク期 3.これから鉄道が生き残るためには			
6回	鉄道法規①	1 鉄道の法規とは 2.鉄道と自動車との違い 3.運転安全規範			
7回	鉄道法規②	1.運転取扱実施基準 2.運転関係 3.列車間の安全確保について学ぶ			
8回	閉そく方式①	1.列車間の安全を確保する方法について考える。 2.通常時の閉そく方式を知る。 3.異常時に列車を走らせる手段や手続きを知る。			
9回	閉そく方式②	1鉄道の安全確保に必要な方式を学ぶ 2.閉そく方式変更について学ぶ 3.伝令法についての取り扱いの解説			
10回	鉄道信号①	1.鉄道信号と交通信号の違いを学ぶ 2.鉄道信号の使命を学ぶ			
11回	鉄道信号②	1.常置信号機を学ぶ 2.信号機の種類を知り役割を学ぶ 3.全国の鉄道信号の違いを学ぶ			
12回	踏切保安装置	1.踏切保安装置の種類を学ぶ 2.踏切保安装置の役割を学ぶ 3.地上装置を学ぶ			
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する、期末試験対策 ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験フィードバック			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道係員の仕事内容を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道運行に関わる職種の分類と職務内容を学び、各係員の概要を習得する 3.鉄道営業法による各係員の職制について学ぶ				
2回	駅員の業務	1.駅の組織を学び駅員が鉄道運行に携わっている位置を学ぶ 2.駅業務の内容を把握し、簡単な業務内容を習得する 3.駅社員の1日の仕事について説明を行い、駅員の特徴を学ぶ				
3回	鉄道乗務員	1.乗務員の職責と使命について学び、各乗務員の特徴を把握する 2.各乗務員の乗務形態を各職種別に説明し把握する				
4回	運行の仕事(車掌)	1.運転係員、営業係員としての車掌業務の使命を学ぶ 2.車掌の運転取り扱い方説明(扉操作・乗車券発売・案内・車内秩序の保持)を行う 3.車掌が起こしやすい事故について説明を行い、安全運行を維持する条件を学ぶ				
5回	鉄道運転士への道	1.運転士の職責及び使命の説明を行い、列車運行に対する重要性を学ぶ 2.運転士国家試験における、各個人が持つべき項目を説明し、試験に対する意識を掴む 3.運転適性検査内容の説明により、運転士受験資格者の選出内容を知る				
6回	運転士養成のカリキュラムと国家試験	1.「動力車操縦者運転免許に関する省令」による受験資格を知る 2.一般的な学科講習科目内容と講習時間、技術講習科目内容と講習時間を学ぶ 3.国家試験実施内容、動力車操縦者養成所等の内容を把握する				
7回	動力車操縦者養成所	1.養成所(研修所、教習所)とは何かを説明し、運転士養成の実態を知る 2.会社内部の養成所の組織内容を知る 3.運転シミュレータ、CAI教材、その他教材を知り、運転士の重要な位置を学ぶ				
8回	鉄道運転士の使命	1.運転士が鉄道運行に対する省令を知り、更に重要な職責であることを知る 2.運転士としての心構えを学び、運転士の業務内容を把握する 3.運転士の1日の仕事内容を説明し、より深く運転士の仕事を学ぶ				
9回	鉄道運転士の事故について	1.事故の分類とそれに対する運転士の教育内容についてを学ぶ 2.事故の分析と原因を追究し、運転士に対し注意義務を学ぶ 3.運転士の事故防止対策内容を学び日々努力する内容を知る				
10回	運転区所の組織	1.習熟度確認を行い現在までの理解度を確認する 2.運転現場の社員の職責と使命を学び、運転士に対する影響を知る 3.運転士の教育、訓練の内容を学ぶ				
11回	鉄道乗務員	1.乗務員の放送一般 ・乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する ・各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける				
12回	鉄道運行に関わる係員①	1.司令及びダイヤについて学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知り、鉄道運行の安全確保にたいする使命を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムとの関係を学び、時刻表がどのような				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道施設概論			クラス	M
担当講師（フルネーム）	種生 稜（代表者）			実務経験	有（鉄道業界勤務歴）
授業概要（内容）	鉄道施設の基礎を学ぶとともに、 鉄道にとって最も重要な安全について学びます。			授業形態	講義&演習
到達目標					
使用テキスト	なし				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	I 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回 (4/9)	オリエンテーション		授業の進め方と評価方法 JR九州における施設のお仕事		
2回 (4/9)	安全概論		鉄道における安全対策 ヒヤリ・ハット、リスクマネジメント、安全ちゃんねる視聴		
3回 (4/16)	施設の基礎		線路の構造、軌道の材料、建築限界		
4回 (4/16)	施設の基礎		線路の構造、軌道の材料、建築限界		
5回 (4/23) 予備 (5/7)	施設実習		実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR（触車・墜落体感）、列車待避訓練（列車風圧体感）		
6回 (4/23) 予備 (5/7)	施設実習		実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR（触車・墜落体感）、列車待避訓練（列車風圧体感）		
7回 (4/23) 予備 (5/7)	施設実習		実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR（触車・墜落体感）、列車待避訓練（列車風圧体感）		
8回 (4/23) 予備 (5/7)	施設実習		実設備を用いた現役鉄道施設社員による実習 JR九州遠賀川実習センター VR（触車・墜落体感）、列車待避訓練（列車風圧体感）		
9回 (5/14)	保線の基礎		保線基礎概論、踏切等保線設備の役割		
10回 (5/14)	新幹線の基礎		新幹線設備の保全業務		
11回 (5/21)	土木の基礎		土木基礎概論、橋梁等土木設備の役割		
12回 (5/21)	建築の基礎		建築基礎概論、駅等建築設備の役割		
13回 (5/28)	機械の基礎（施設実習）		機械基礎概要、EV等機械設備の役割 JR九州エンジニアリング福岡事業所における券売機、自動改札機の取り扱い体験		
14回 (5/28)	機械の基礎（施設実習）		機械基礎概要、EV等機械設備の役割 JR九州エンジニアリング福岡事業所における券売機、自動改札機の取り扱い体験		
15回 (6/4)	期末試験		まとめ		

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道駅実務			クラス	M
担当講師(フルネーム)	向 明彦			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道営業に関する基本的な知識・スキルを習得する。 鉄道営業規則をベースに運賃・料金や鉄道のサービス等を理解する。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道営業基本の乗車券類取扱ルール、鉄道サービスを理解し、実践活用のスキルを身につける。(注: 学生理解度により授業内容の変更有)				
使用テキスト	旅客営業規則、授業状況により独自資料				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	シラバスによる講義概要及び進め方等 鉄道営業に関する法・規則のあらまし 鉄道業界の基礎的知識			
2回	旅客営業規則の概要	旅客営業規則総則・通則等(運賃・料金とは)			
3回	乗車券類①	乗車券類の種類、発売日、有効期間、大人・子ども等			
4回	乗車券類②	乗車券類の種類、発売日、有効期間、大人・子ども等			
5回	運賃①	普通運賃、定期運賃、割引運賃等、運賃計算考え方、その他			
6回	運賃②	普通運賃、定期運賃、割引運賃、団体運賃等、運賃計算方法、その他			
7回	料金①	急行料金等、料金計算の考え方、その他			
8回	料金②	急行料金等、新幹線内乗継等、料金計算の方法、その他			
9回	運賃・料金①	運賃・料金計算の演習(実際に計算問題を解く)、その他 ※注: 計算は、国家試験「旅行業務取扱管理者試験」にも関連する内容			
10回	運賃・料金②	運賃・料金計算の演習(実際に計算問題を解く)、その他 ※注: 計算は、国家試験「旅行業務取扱管理者試験」にも関連する内容			
11回	運賃・料金③	運賃・料金計算の演習(実際に計算問題を解く)、その他 ※注: 計算は、国家試験「旅行業務取扱管理者試験」にも関連する内容			
12回	乗車券類の効力・様式等 乗車変更等 個人割引等	通則・特例、有効期間、継続乗車、途中下車、選択乗車、改札・引き渡し 乗車変更、払い戻し、紛失 身体障がい者割引、知的障害者割引、学生割引等			
13回	特別企画乗車券 入場券等その他サービス 前期テストの出題範囲傾向	通年発売、期間限定発売等 入場券、手回り品等、車いす対応、車内サービス、ジパング倶楽部、駅レンタカー、便利なカード等 前期テストの取組方			
14回	前期テスト実施 質疑応答・まとめ①	前期テストの実施 前期の振り返りと学生の知識理解の進捗度を確認			
15回	質疑応答・まとめ②	前期試験の振り返りと前期総括及び今後の課題等について			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道業界を知るため講師の経験を伝える。 鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。			授業形態	講義&演習	
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学ぶ。					
使用テキスト	・鉄道業界就職ガイドブック2027 ・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	講師自己紹介、学生自己紹介(志望先、授業に望むこと等) 授業の進め方の説明				
2回	講師JR九州での経験①	工場検査係、運転士養成講座、運転士見習い、国家試験合格まで				
3回	講師JR九州での経験②	本務運転士、運用指令、育児休業、支社運輸総務担当、研修センター講師				
4回	職種研究 乗務員 (運転士・車掌)	運転士・車掌の仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる				
5回	職種研究 (駅員・パーサー)	駅員・パーサーの仕事の概略を学び、なりたい職種にどのような力が必要かを知り 志望動機につなげる				
6回	企業研究の仕方を学ぶ	鉄道業界に就職するために必要な企業研究方法を学ぶ				
7回	西鉄について①	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
8回	西鉄について②	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
9回	JR九州グループ について①	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
10回	JR九州グループ について②	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
11回	JR四国	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
12回	JR東海	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
13回	JR北海道	実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える				
14回	前期の復習 期末テスト対策	前期学んだ鉄道会社の総復習を行い、各社の特徴を掴む				
15回	期末テスト 前期のまとめ	期末テスト これまでの鉄道業界研究を復習し、夏休みにすべきことを確認する				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	時刻表			クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	JR時刻表をスムーズに使用し、お客さま案内に必要な知識を確実に取得する JR時刻表を使用して、旅行プランを計画する			授業形態	講義&演習
到達目標	駅案内に必要な能力を身に付け、駅業務に必要な旅行プラン作成能力を身に付ける				
使用テキスト	JR時刻表、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション時刻表の基礎	1. 年間を通しての授業の進め方と評価方法を周知させ、授業に取り組む姿勢を学ぶ 2. 各ページの役割と内容を把握し、時刻表に対する興味を持たせる 3. 時刻表に記載している記号の把握を行い、より早く時刻表に慣れるようにする			
2回	時刻表の使い方基礎	1. 時刻表の便利な使い方を周知させ、項目による必要条件を覚える 2. 時刻の探し方・列車の種類と記号・注意点を学ぶことにより、時刻表の特性を身に付ける 3. 列車番号による種別(臨時列車、指定日運用列車等)の見分け方と条件を学ぶ			
3回	鉄道地図の見方	1. 鉄道地図の見方を周知し、各駅の検索作業を身に付ける 2. JRと私鉄・バス・航空・観光地等を索引から見つけ出す知識を身に付ける 3. 運賃、列車探索、線区別の必要条件を学ぶ			
4回	時刻表をひく①	1. 新幹線の索引知識を身に付け、目的地に合った列車を確認する 2. 新幹線と特急の索引方法で、違いを理解することにより、鉄道知識が高まる各特急列車の座席の種類を把握し プランニング作業に生かす			
5回	時刻表を引く②	1. 在来線の索引訓練を行い、プランに合った列車を見つけ出す 2. バス路線の索引方法を訓練し、バス旅行に必要な知識を身に付ける 3. バスの時刻確認方法、使用条件等を学ぶ			
6回	時刻表を引く③	1. 船旅行に必要な索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 2. 旅客機を使用した旅行に対する索引訓練を行い、必要条件を身に付ける 3. 見積書作成時に必要な記号、適切な記入方説明			
7回	時刻表を引く④	1. 各旅客手段からの乗換条件を周知し、旅行プランニングに必要な条件を身に付ける 2. 各種、切符類の把握及びお得な条件等を学び、旅行プランニングの訓練を行う 3. 見積書記入訓練を行い、プランニングに必要な条件を身に付ける			
8回	プランニング訓練①	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法			
9回	プランニング訓練②	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法			
10回	プランニング訓練③	1. 時刻表を用いて、鉄道の課題に沿った訓練を行い、時刻表の使用条件を身に付ける 2. 九州各都市の目的地、関西各都市の目的地、中部各都市の目的地、関東各都市の目的地、東北各都市の目的地 北海道各都市の目的地に鉄道を利用して行く方法			
11回	JRの営業案内	1. 旅行業の窓口訓練を行い、必要条件を身に付け実践に役立たせる 2. 時刻表から学ぶ各鉄道会社の特徴を把握す 3. 習熟度確認を行い理解度を把握する			
12回	時刻表の早見法まとめ	1. 時刻表の便利な使い方を再周知する 2. 各ページの役割と内容再周知 3. 理解度調査による再認識を行い時刻表の見方を訓練する			
13回	期末試験対策	1. 習得内容の再確認を行い、復習を行う ・知悉度調査を行い各自の理解力を把握する			
14回	期末試験対策	1. 期末試験の実施 ・個人的に指導する			
15回	まとめ	1. 前期のまとめと期末試験に対するf一度バックを行う 2. その他、見積及び契約時の注意点把握(必要最低限に把握する事項等) 3. 時刻表の重要性を把握			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	国内地理			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	カテゴリー別に観光資源を学ぶ 各都道府県の観光資源(観光地、温泉、祭り、名産品など)を学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	前期は国内観光資源全般の知識を増やし国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す					
使用テキスト	旅に出たくなる地図、国内観光地理					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法の説明 1. 山岳 2. 峠・峡谷・渓谷 3. 高原・湿原 テキスト、プリントのキーワードをチェック				
2回	項目別観光資源①	小テスト 4. 滝・鍾乳洞 5. 湖・沼・池 6. 河川 テキスト、プリントのキーワードをチェック				
3回	項目別観光資源②	小テスト 7. 岬・半島 8. 海岸・砂丘 テキスト、プリントのキーワードをチェック				
4回	項目別観光資源③	小テスト 9. 島 テキスト、プリントのキーワードをチェック				
5回	項目別観光資源④	小テスト 10. 神社 11. 寺院 12. 城・城跡 テキスト、プリントのキーワードをチェック				
6回	項目別観光資源⑤	小テスト 13. 庭園 14. 美術館・博物館 15. 文学館・記念館 16. テーマパーク 17. 祭り など テキスト、プリントのキーワードをチェック				
7回	項目別観光資源⑥	小テスト 18. 温泉(東日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック				
8回	項目別観光資源⑦	小テスト 19. 温泉(西日本) テキスト、プリントのキーワードをチェック				
9回	項目別観光資源⑧	小テスト 20. 日本の世界遺産 21. 国立公園 テキスト、プリントのキーワードをチェック				
10回	北海道	北海道 旧国名・温泉・名所・観光地・名産品について学ぶ				
11回	東北①	青森、岩手 旧国名・温泉・名所・観光地・名産品について学ぶ				
12回	東北②	宮城、秋田、山形、福島 旧国名・温泉・名所・観光地・名産品について学ぶ				
13回	中部①	山梨、長野 旧国名・温泉・名所・観光地・名産品について学ぶ				
14回	中部②	新潟、富山、石川、福井 旧国名・温泉・名所・観光地・名産品について学ぶ				
15回	前期期末試験、沖縄	前期期末試験(30分)				

対象学年	1年	学期	前期のみ	学科	国際ビジネス 鉄道科
科目名	ペン字			クラス	CM
担当講師(フルネーム)	森永詩麻			実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ			授業形態	講義&演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通じて社会人としての教養を身につける。				
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	× 期末試験なし				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	オリエンテーション、授業の進め方 文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類			
2回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字（漢字）のバランスの取り方を学ぶ①			
3回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字（漢字）のバランスの取り方を学ぶ②			
4回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字（漢字）のバランスの取り方を学ぶ③			
5回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ④ 文字（片仮名・平仮名）のバランスの取り方を学ぶ			
6回	履歴書の書き方①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習～下書きを作る			
7回	履歴書の書き方②	履歴書まとめ①			
8回	履歴書の書き方③	履歴書まとめ② ～提出			
9回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字（書式）とバランスの取り方を学ぶ 封筒（縦長 長形4号）の書き方一人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ②	封筒（縦長 長形4号）の書き方一人・企業宛の書き分け② 封筒（A4が入る封筒 角形2号）の書き方一人・企業宛の書き分け①			
11回	実用書を学ぶ③	封筒（A4が入る封筒 角形2号）の書き方一人・企業宛の書き分け② まとめ			
12回	実用書を学ぶ④	手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方～縦書きの書式			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習（楷書・行書）			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	友納真			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	・就職について考える(希望職種・企業)・就職活動の2大テーマ「自己PR・志望動機」 ・西鉄グループ企業(鉄道業界)の説明会に参加する			授業形態	講義	
到達目標	「就職する」ということについて基本的な姿勢を習得する					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定 基本テキスト/EMPLOYMENT NOTE 2026(就職ノート)					
成績評価方法	・提出物・課題70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回 4/14(火)	オリエンテーション	・授業の進め方を説明 ・就職とは何か、学生と社会人の違いを考える			・ <b>GoogleClassroom</b> を使用します。 ・ 課題について、 <b>Forms</b> で作成、提出を求めるものもあります。 ・ <b>指定日=リクルートスーツ着用</b> のこと。 (スーツに合わせた身だしなみを心掛けてください)	
2回 4/21(火)	パソコン操作【1】	・パソコンの操作について学ぶ				
3回 4/28(火)	パソコン操作【2】	・前回の続き				
4回 5/12(火)	就職閲覧室見学	・IBCの就職活動の流れを説明する ・就職閲覧室の利用、活用方法を説明する				
5回 5/19(火)	自己分析【1】	・自己紹介 ・自分を知る/紹介する ・自己分析の意義を考える				
6回 5/26(火)	自己分析【2】	・前回の続き				
7回 6/2(火)	自己分析【3】	・自己分析から自身の強み、アピールポイントを見つける ・自身の弱みにも目を向け、どうやってアピールポイントに変えていくか考える				
8回 6/9(火)	自己分析【4】	・前回の続き				
9回 6/16(火)	業界・企業研究【1】	・業界を知る ・気になる業種・職種・企業を見つける ・それぞれの研究をする				
10回 6/23(火)	業界・企業研究【2】	・前回の続き				
11回 6/30(火)	業界・企業研究【3】	・前回の続き				
12回 7/7(火)	業界・企業研究【4】	・前回の続き				
13回 7/14(火)	グループディスカッション	・グループディスカッションの流れと対策/実践				
14回 7/21(火)	西鉄グループ 企業説明会【1】	・西日本鉄道(株) ・筑豊電気鉄道(株)				
15回 7/28(火)	西鉄グループ 企業説明会【2】	・(株)西鉄ステーションサービス ・西鉄エンジニアリング(株)				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記試験対策 I			クラス	M	
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業			授業形態	講義	
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	・一般常識&SPI    ・一般常識&時事/一問一答					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	漢字を極める	授業の進め方、評価方法の確認 漢字検定/ 模擬試験 ( 校内で実施される漢字検定に向けての準備 / 任意受検 )				
2回	都道府県を制覇する	日本の白地図を使用して都道府県を確認する うる覚えの知識を確かな知識に変える一歩				
3回	世界地図を見る①	白地図で主要な国の位置と首都を把握しよう				
4回	世界地図を見る②	世界で注目されている国々の場所を確認し、時事問題に対応できる基礎固めをします				
5回	グローバル社会の住人①	世界の『今』を知るために、国際連合とその諸機関を学びます 中学・高校で学んだILOやWHOの登場です				
6回	グローバル社会の住人②	程よい付き合いは、人にとっても国にとっても重要 国同士の『付き合い』を地域協定(EU、ASEANなど)を通して考えます				
7回	グローバル社会の住人③	『summit』の意味は『頂上』。時事用語の『サミット』は？ G7サミットはフランスで6月開催予定。G20サミットはアメリカ合衆国で12月開催予定				
8回	あなたの『1票』の重さ	政治① 国会の機能と役割について				
9回	霞が関の仕事	政治② 内閣、省庁と関連機関				
10回	地方公共団体	政治③ 地方政治				
11回	裁判員制度	裁判所や裁判員制度の仕組みについて				
12回	循環する『お金』	銀行に預けたお金はどこに行く？お金の流れを考え『経済』をもっと身近なものに				
13回	『お札』は技術の結晶	『お札』から『電子決済』まで、世界の今、日本の今を考えます				
14回	経済用語を覚える	CEO、COO、CFO、代表取締役社長、さまざまな呼び方があります。あわせて覚えましょう				
15回	前期末試験と夏課題説明	前期末試験(30分) 夏課題説明				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	新型コロナウイルス禍後テスト形式は テストセンター Web 鉄道系 ホテル 航空型企業の過去問を中心に出版が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力適性検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			実務経験	無
授業概要(内容)				授業形態	講義
到達目標	鉄道系 ホテル 旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。				
使用テキスト	SPI基本問題集 大和書房				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・基礎事項の確認 テキストp20～42	講義指針、内容などに関する事項 各業界の採用試験形式と最近の試験傾向 SPIなどは公務員試験に採用されている数的推理・判断推理に似ています。できるだけ方程式を使わずに問題を処理する能力が要求されます。特に最近の推論という分野は、問題文を見て論理的な思考を用いてその場で解答を導きます。数学ができるからと言っても、推論が解けるとは限りません。逆に数学ができなくても推論は解けます。問題が発生したとき、その場で考えて問題を推論的に処理する能力があればそれでいいのです。数学苦手な人も自信を持ってください。			
2回	鶴亀算1連立方程式 テキスト p50～80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONNDAのバイクとトヨタの車に合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか			
3回	鶴亀算2 連立方程式賠償算 テキスト p50～80	約1300年前の奈良時代に中国から伝わった考え方。鶴と亀が合わせて20匹(羽) 鶴と亀合わせた足の数は70本 鶴と亀はそれぞれ何匹? HONNDAのバイクとトヨタの車に合わせて20台あります。バイクと車のタイヤの数を数えたら64本ありました。バイクと車はそれぞれ何台ありますか? ある仕事をするのに、商品1個を仕上げると、1500円のバイト料がもらえる。商品を壊してしまうと、商品1個につきバイト料はもらえないどころか、1個につき2000円弁償しなければならない。バイトの学生が20個仕上げて、バイト料16000円をもらった。この学生は商品を何個壊しましたか			
4回	速さ・時間・距離 1 旅人算 p86～109	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。この分野もほとんどすべての試験形式で、出題されます。距離と時間と速さの関係性がポイントです。速さとかかる時間が逆比例の関係性にあることがキモです。実際の入社試験の過去問を解いていきましょう。有名な問題は、Aが分速60mで寮から駅に向かって信号機のない直線道路歩き始めた。その15分後、Bが分速80mで追いついた。Bは何分後寮から何mの地点でAに追いつきますか? また鉄橋通過算もあります。時速と列車と鉄橋の長さが与えられている場合、列車がこの鉄橋を通過するのに何秒かかりますか? ポイントは時速を秒速に変換する点です。			
5回	速さ・時間・距離 2 旅人算 流水算 p86～109	この問題は旅人算・追いかけ算・出会い算と呼ばれています。 出会い算とは、寮から勤務のホテルまで、信号機なしの直線道路で、17km離れています。Aが寮から勤務先のホテルに出勤するため、午前8時に自転車で時速時速7kmで向かいました。他方勤務明けのBは寮に戻るため、バイクで、午前8時に時速21kmでホテルを出発しました。AとBは何時間分に寮から何m? ホテルから何mの地点で出会いますか? 流水算とは、川の上流A地点と、川の下流のB地点を船で往復する場合の、静水時の船の速さや、川の流れの速さを求める問題です。			
6回	食塩水の濃度 1 p109～119	SPI・SCOAの分野で重要な問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあはいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることは無いと思います。①食塩水Aに、食塩を混ぜて、できた食塩水Bの濃度は何%? ②濃度の異なる食塩水Aと食塩水Bを混ぜ合わせた時に出来る食塩水Cの濃度は何%?			
7回	食塩水の濃度 2 p109～119	SPI・SCOAの分野で重要な問題 出題率の2トップのうちの一つです。毎年航空・旅行・ホテルなどの企業で出題されています。食塩水の問題の正体をあはいてみせます。なぜ出題頻度が高いのか? 食塩水の問題は数学的思考を見るのに適しているからだと思います。 実際、ホテル、空港、プライダル式場で、濃度7%の食塩水100g下さいと言われることは無いと思います。①食塩水Aに食塩を混ぜて、食塩水Bを作るには水、または食塩を何g加えるといいですか? ④食塩水A(濃度13%重さ270g)を煮沸して出来た食塩水B(重さ190g)の濃度は? 煮沸して、蒸発するのは水だけがポイント			
8回	年齢算 テキストに無し	年齢算の正体を明らかにします。年齢算にはいろいろな解き方があります。自分の解きやすい解き方で解いて構いません。大切なことは早く、正確に正解することです。SPI非言語は小学校高学年の文章題で学習した内容が非常に多いです。小学校で習ったから、簡単ではありませんよ。中学・高校の数学のほうが問題によっては簡単なケースがたくさんあります。 SPI非言語と数学は必ずしも同じではありません。それが数学と言わずに、SPI非言語と命名されている理由だと思えます。			
9回	比と割合 玉手箱(計数理解) テキストに無し	割合の考え方を基本的に問題演習を実践します 割引・割り増しの考え方を理解できるようにまります。この理解は損益算につながっていきます。また比の問題はいろいろな形でよく出題されます。例えば、バラが全部で90本 赤バラと白バラの数が6:3の時赤バラをさらに30本増やしたとき赤バラと白バラの比率は何:何になりますか? 比の問題のポイントは比の差と比の和です。SPI・3でも頻出分野です。玉手箱は計数理解という簡単な方程式を使った問題が50問 1問平均8秒以内で時間との闘い。			
10回	確率1 Probability テキストp158～177	確率は必ず出題されます。絶対に理解しておきましょう。 確率については最大が1です。100%でも10割でもかまいません。 公式は $0 < P < 1$ Probability 試験のポイントは(少なくとも)余事象の理解です。余事象の場合、解答欄の選択肢は、必ず【1-分数】を選択することになります。とても大事なので1年後期でも学習します。 ある日のホテルの宿泊客35名。内訳は男性は21名女性14名。翌朝2人がチェックアウトしました。①チェックアウトした二人が二人とも女性だった確率は? ②二人のうち少なくとも一人が女性だった確率は?			
11回	順列1 Permutation p136～145	順列の基本的な考えは難しくありません。小学校中学校の時に理解できていない学生もたくさんいます。もう一度じっくり考えてみると必ず理解できます。 公式は、 $nPr$ $P = \text{permutation} = \text{順列}$ $n$ は全体の数字、 $r$ は $n$ 個(人)の中から取り出して並べた時の数です。公式に当てはめるだけです。絶対的に落とせません。 順列も1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。 SPI・3になってから、重複順列・円順列も出題されています。数珠順列は出題されていません			
12回	組み合わせ1 Combination テキストpp146～157	順列が理解できないと組み合わせは理解できません。順列ではABC ACB BAC BCA CAB CBAはすべて別と考えます。つまり並び方が違うと別物と考えます。組み合わせは列(並び方)ではなく、中身・内容で考えるので、ABC=CBAまで全て同じと考えます。つまり組み合わせとしては、1個です。 公式 $nCr$ $C = \text{Combination}$ 公式の意味も理解しましょう。 組み合わせも1年後期でさらに難しい問題に挑戦します。			
13回	仕事算1 テキストに無し	仕事算の意味=ある人、ある機械が一日又は一時間一分間当たりどれだけの仕事をするかの問題 仕事算の基本問題・公式①一日(一時間)当たりの仕事量 = $\frac{1}{\text{かかった日数(時数分秒数)}}$ Aがホテルのある業務21日かけて完了した。Aの一日当たりの仕事量は21分の1 数学では全体を1とする場合がとて多い。この場合の(いち)はoneではなく、allの意味です。日本語としても、いち=oneの意味に使われています。詳しくは講義の中で。			
14回	仕事算2 推論 暗号問題 テキストに無し	仕事算の応用問題 A一人だと27日(27時間)、B一人だと33日(33時間)、C一人では40日(40時間)かかる仕事をABCの3人ですると何日(何時間)で終わるか? ABC3人で二日間仕事をしたが、Aが途中でサボった為BC二人で残りの仕事をした場合最初から数えて何日(何時間)に完了する?など 暗号問題は公務員採用試験には出題されていますが、従来SPI・2には出題、されていませんでした。SPI・3には暗号問題があります。知能検査みたいな問題で、センスがためられます。何問かチャレンジしましょう。頭の柔らかさでセンスがためられます。			
15回	構造的把握力検査 前期学習の総まとめ テキストp280～283	新傾向の問題 鶴亀算 速さ・時間・距離 食塩水の濃度 確率 順列 組み合わせ 玉手箱の計数処理 後期学習の最重要分野の推論について			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテルプライダル・国際ビジネス・鉄道・エアライン
科目名	ビジネスマナー			クラス	ACMP
担当講師(フルネーム)	田中友加利・池田香織			実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ			授業形態	講義
到達目標	・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得させる。				
使用テキスト	ビジネス能力検定 3級テキスト 2026年度版				
成績評価方法	・期末試験60%平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション	授業内容、成績評価方法			
2回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第1章 キャリアと仕事へのアプローチ			
3回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第2章 仕事の基本となる8つの意識			
4回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本 ・身だしなみ、あいさつ、おじぎ、仕事中のマナー			
5回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
6回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第4章 指示の受け方と報告・連絡・相談			
7回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第5章 話し方と聞き方のポイント ・敬語の種類と必要性			
8回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第6章 来客応対と訪問の基本マナー			
9回	第1編 ビジネスと コミュニケーションの基本	第7章 会社関係でのつき合い			
10回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
11回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第1章 仕事への取り組み方 第2章 ビジネス文書の基本			
12回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第3章 電話応対			
13回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第4章 統計・データの読み方・まとめ方			
14回	第2編 仕事の実践と ビジネスツール	第5章 情報収集とメディアの活用			
15回	期末試験	期末試験 前期授業のまとめ			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・フライタル・エアライン・ 鉄道・国際ビジネス	
科目名	TOEIC I			クラス	ACMP①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する					
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集12					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Part1	授業の進め方、評価方法の説明 写真をチェックする 人物、風景と物、乗り物についての表現				
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文 付加疑問文 平叙文				
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 音のひっかけに注意する 練習問題				
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む				
5回	Part4(2)	場所を問う問題 職業を問う問題 次の行動を問う問題				
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題 名詞の形と役割を理解する				
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 時制 能動態と受動態				
8回	Part5(5)	代名詞 適切な格を判断する 可算名詞・不可算名詞				
9回	Part5(7)	Part5のまとめ 前置詞と接続詞				
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題				
11回	Part7(2)	Eメール、お知らせ・予定表を読む 文脈を意識して読む 練習問題				
12回	模試	リスニング模試 Part1/Part2/Part3/Part4 答え合わせと解説				
13回	模試復習	リーディング 文法 読解				
14回	期末試験対策	語彙問題 文法問題 読解問題				
15回	IPテスト対策	リーディング対策 文法・語彙問題 読解問題				

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル・エアライン・鉄道・国際ビジネス科
科目名	TOEIC II			クラス	ACMP①
担当講師(フルネーム)	挽田雅子			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす。 TOEIC頻出の文法事項を理解する。			授業形態	講義
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する				
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集12				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	Part2(1)	Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞きとる キーワードをとらえる			
2回	Part2(3)	「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかきに注意する 練習問題			
3回	Part3(2)	設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む			
4回	Part4(1)	Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞きとる お知らせや電話のメッセージを聞く			
5回	Part4(3)	アナウンス・ツアー・トーク・スピーチ Listeningのまとめ			
6回	Part5(2)	品詞問題 形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する			
7回	Part5(4)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法について理解する			
8回	Part5(6)	前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題			
9回	Part6(1)	Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く			
10回	Part7(1)	Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む 看板、フォームを読む			
11回	Part7(3)	テキストメッセージ、ウェブページを読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む 時間を管理する			
12回	模試	リーディング模試 Part5/Part6/Part7 答え合わせ			
13回	IPテスト対策	リスニング対策 よくある場面と設問 頻出語彙			
14回	期末試験	Part5/Part6/Part7 単語プリント			
15回	まとめと復習	期末試験のフィードバック 文法・語彙問題 読解問題			

対象学年	1年	学期	通年(前期)	学科	ホテル・ブライダル、エアライン、鉄道、国際ビジネス、夜間総合観光科
科目名	英検対策 I & II			クラス	APMCZ
担当講師(フルネーム)	日高郁子、猪口明日香、前田智美、加藤亜希			実務経験	有(通訳翻訳業界勤務歴)
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。			授業形態	講義
到達目標	英検2026年度に合格できる力をつける。				
使用テキスト	2026年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
2回	過去問題①	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
3回	過去問題①	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
4回	過去問題①	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
5回	本試験	本試験の自己採点及び解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
6回	二次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
7回	二次試験対策	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
8回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
9回	過去問題②	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
10回	過去問題②	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
11回	過去問題②	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
12回	過去問題③	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。			
13回	過去問題③	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。			
14回	期末試験対策	長文読解 英作文問題 リスニング問題			
15回	期末試験	前期授業総括 期末試験解説 前期総復習			

対象学年	1・2年共通	学期	通年(前期)	学科	エアライン・ホテル・ブライダル・鉄道・夜間総合観光科
科目名	韓国語			クラス	P・M・E・Y
担当講師(フルネーム)	権京愛			実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。			授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。				
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」(朝日出版)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	文字と発音①	ハングル誕生の背景や韓国語の特徴を知ろう! 単母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。			
2回	文字と発音②	半母音を覚える。 発音と読み書き練習をする。 簡単な挨拶表現を覚え、授業中に使えるように練習する			
3回	文字と発音③	初声(平音)と発音の規則(有声音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をし、単語の意味を覚える。			
4回	文字と発音④	二重母音と発音の規則(連音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
5回	文字と発音⑤	初声(激音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
6回	文字と発音⑥	初声(濃音)を覚え、正しく発音できるようにする。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
7回	終声(パッチム)	パッチムの仕組みを理解し、覚える。 発音と読み書き練習をする。 関連単語の読み書きの練習をしながら単語の意味を覚える。			
8回	かなのハングル表記	発音の規則(濃音化)を覚え、正しく発音できるようにする。 ハングルで自分の名前を書く練習をする。 「곰 세 마리」の歌と歌詞を覚える。			
9回	教室用語	パッチムを復習し、関連単語を覚える。 授業用語のフレーズを覚える。 クラスメートと会話練習をする。			
10回	体言文①	助詞「～은/는」 「～입니다/～입니까?」 クラスメートと会話練習をする。			
11回	体言文②	「～(이) 라고 합니다。」 自己紹介の練習をする。 復習問題を解く			
12回	体言文③	「激音化」と助詞「～이/가」 「～예요/～이에요?」 クラスメートと会話練習をする。			
13回	体言文④(否定文)	「～가/이 아니예요」 復習問題を解く 期末テスト対策			
14回	期末テスト	復習 期末テスト			
15回	まとめ	期末テストのフィードバック 文化紹介			

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	乗務員の行路作成により、乗務員勤務に対する知識を植え付ける 車両運用手配を学び異常時に対する取扱いを身につける			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道の安全に対する知識と概要を身につける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する説明を行う ・行路作成について入力説明を行う				
2回	ダイヤグラム作成作業復習	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
3回	乗務員行路表作成作業①	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
4回	乗務員行路表作成作業②	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
5回	乗務員行路表作成作業③	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める				
6回	乗務員行路表作成作業④	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.駅作業と乗務員の作業を確認する				
7回	乗務員行路表作成作業⑤	1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.各行路の染め込みを行い、繋がりを確認する 3.乗務員の作業記号を確認する				
8回	乗務員行路表作成作業⑥	1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる				
9回	乗務員行路表作成作業⑦	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる				
10回	乗務員行路表作成作業⑧	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる				
11回	乗務員行路表作成作業⑨	1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる				
12回	乗務員勤務	1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期末試験対策				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します			授業形態	講義&演習	
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	鉄道用語説明	1.鉄道運行に必要な用語を学び異常時対応能力を養う 2.用語の役目(必用に応じた使用方説明) 3.防救連に対する重要性の説明を行い対応の基礎を学ぶ				
2回	異常時	1.異常時に対する各役割 ・鉄道係員各職種における異常事対応の説明を行い理解度を深める 2.異常時の対応を実際に仮説を行い各自役柄設定により対応を行うことにより行動能力を植え付ける				
3回	列車遅延	1.列車遅延に対する各職種の対応方 ・各職種別ごとのお客さまに対する異常時対応の実践を行うことにより、お客さま対応能力の習得を行う				
4回	車両故障①	1.各職種の対応方(電車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける				
5回	車両故障②	1.各職種の対応方(気動車編) ・運転士は、電気配線図を用いて故障原因を解明し異常時対応能力を身に付ける ・運転士以外の職種においてもお客さま対応能力を身に付ける				
6回	保安装置故障①	1.各職種の対応方(出発信号機及び場内信号機) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・乗務員以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付け、異常時能力向上を目的とする				
7回	保安装置故障②	1.各職種の対応方(転てつ器及びATS) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・お客さま対応能力及び保安装置について再周知を行う				
8回	急病人対応	1.各職種の対応方(車内にて急病人発生) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 習熟度確認				
9回	踏切及び人身事故①	1.各職種の対応方を説明(鉄道人身傷害事故・踏切障害事故) ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う ・運転士以外の職種においてのお客さま対応能力を身に付ける				
10回	踏切及び人身事故②	1.鉄道障害事故時の現場責任者の取扱いを学ぶ ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
11回	異常時対応全般説明	1.異常事対応能力確認 ・対応能力の判定及び習熟度確認を行う 2.鉄道実務の再周知を行い、より理解を深める				
12回	異常時発生時の 車両・運用手配	1. 車両運用の条件を学び運行にあった車両手配を学ぶ 2. 運用変更手配表の説明 3. 運用手配表に沿った車両運用・乗務員手配を行う				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	前期のまとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.前期授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道車両 I (電車)			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける 電気車の最新技術の応用と、制御システムの基礎知識・技術習得を目的とする			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道車両の安全性・信頼性を図ったシステムと、フェールセーフ技術の必要性を身につける				
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント				
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション (ブレーキ装置の概要)	1.カリキュラムの説明を行う 2.鉄道車両のブレーキ装置、及びブレーキシステムの基礎知識を身につける 3.ブレーキ装置の種類・構造、及びその機能についての知識・技術を学ぶ			
2回	鉄道車両ブレーキ装置概要	1.鉄道車両に関する技術上の基準を定める法令についての知識を習得する (常用ブレーキ装置 留置ブレーキ装置 保安ブレーキ装置 その他 ) 2.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ			
3回	空気ブレーキ方式と保安ブレーキ	1.空気ブレーキ方式による空気指令式と電気指令式の特徴と機能について学ぶ 2.ブレーキ種類別による機器構成・機能、ブレーキ作用までの仕組みを身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ			
4回	ブレーキ力と粘着力	1.鉄道車両のブレーキ力を左右する粘着係数粘着力についての知識を身につける 2.ブレーキ力と粘着力のとの相互関係を身につける 3.車輪の空転・滑走のメカニズムと、車両に与える影響について学ぶ			
5回	補助電源装置の用途と回路構成	1.鉄道車両の補助電源装置の種類と、出力電源使用用途について学ぶ 2.MG電動発電機・SIV静止型変換装置の出力変換システムの知識を身につける 3.高い効率と信頼性を図ったSIV(静止型変換装置)待機系回路構成を学ぶ			
6回	電源回路の方式とその特徴	1.補助電源装置の運転方式による構造、機能、制御方式を学ぶ 2.運転方式の種類、回路構成・特徴、及び信頼性向上についての知識を学ぶ (独立運転方式 待機二重方式 並列同期運転方式)			
7回	鉄道車両に設置すべき設備①	1.鉄道車両に関する信号保安・保安通信設備の基礎知識を身につける 2.鉄道車両に関する車上に設置すべき設備、装置について知識を習得する ATS(自動列車停止装置) ATC(自動列車制御装置) ATO(自動列車運転装置)			
8回	鉄道車両に設置すべき設備②	1.鉄道車両に於いて車上に設置すべき設備・装置・機能など基礎知識を身につける 2.列車無線 デッドマン装置/EB装置のシステムについて学ぶ 3. 習熟度確認			
9回	保安装置のシステム	1.鉄道車両の保安装置システム・機能・役割等の基礎知識を習得する 2.フェールセーフ性設計の必要性について学ぶ 3.車両の運転状況、保安装置の動作機能についての知識を身につける			
10回	運転理論の基礎知識と計算式の応用	1.車両の運転、車両技術に必要な運転理論等の基礎知識を習得する 2.出発抵抗 走行抵抗 空気抵抗 勾配抵抗 曲線抵抗の理論について学ぶ 3.鉄道車両運転理論に関する法則・計算式等の基礎知識を身につける			
11回	電気車の付属装置	1.各機器説明 2.車両搭載の各付属装置の役割・機能・用途について基礎知識を習得する 3.標識及び警報装置・通風装置・計器類・戸閉め装置・行先表示装置・放送装置等の機能・動作を学ぶ			
12回	車両メンテナンス	1.車両検査内容説明 2.車両機器と装置間の情報送受信との伝送システムの仕組みを学ぶ 3.車両情報伝送システムを活用し、車両状態記録機能、試験機能について学ぶ技術を学ぶ			
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る			
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価			
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、電車に対する意識を深める			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両Ⅱ(気動車)			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	気動車のしくみ(電気配線図を使用して気動車の概要を学ぶ) 気動車の電気配線図により各機器名及び役割を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	電気配線に対する理解力を向上させる					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.電車と気動車の相違点を知り、気動車の利点を学ぶ 3.気動車が安全運行するための重要機器を学ぶ				
2回	電気配線図概要	1.電気配線図の基本を知り、見方を学ぶ 2.電気回路概要を学び気動車の中身を知る 3.使用用途に応じた各機器の働きを学ぶ				
3回	主電源	1.バッテリー投入からの電源の流れ方を学ぶ 2.ノーヒューズブレーカーとヒューズの役割を学ぶ 3.車両を正常に操作できる条件と目的を学ぶ				
4回	エンジン起動回路①	1.エンジンを正常に起動する条件を知る ・各スイッチの定位置及び各機器の定位置を学び、起動条件を知る 2.エンジンを起動するための、操作する機器及び電気の流れを学ぶ				
5回	エンジン起動回路②	1.予熱位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
6回	エンジン起動回路③	1.起動位置の重要性と電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
7回	エンジン増速運転	1.主幹制御器の主ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(1N～5N) 2.個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する				
8回	逆転機回路①	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(前進) 2.逆転機機能と合わせて学ぶことにより一層の理解を得る				
9回	逆転機回路②	1.主幹制御器の逆転機ハンドル位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ(後進) 2.習熟度確認(結果によって個人的なヒヤリングを行い習熟度を確認する)				
10回	変速回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「変速」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ				
11回	直結回路	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ				
12回	直結回路①	1.主幹制御器の変速ハンドル「直結」位置に応じた電気の流れを学ぶ ・電気の流れによる動作する各機器及び計器類の働きを学ぶ 2.液体変速機及び各機器の動作も合わせて学ぶ				
13回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
14回	期末試験	1.期末試験 ・理解度の確認及び全体評価				
15回	前期のまとめ	1.期末試験対策 2.前期授業の学習を振り返り、気動車に対する意識を深める				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	鉄道業界研究			クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	志望企業のトピックス・企業理念等を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。 授業テーマと並行して、求人企業の企業研究を並行して行う。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道業界の業務内容を理解し、志望企業でやりたい仕事を考え、志望理由に活かし、内定を獲得する。				
使用テキスト	講師作成プリント				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点+小テストで50%、期末テストで50%				単位数 2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り 前期説明 確認テスト			
2回	鉄道業界最新事情①	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす ICカード、クレジットカードなど 鉄道会社アプリ、鉄道会社が持つ旅行会社			
3回	鉄道業界最新事情②	鉄道業界の最新のトピックスを知り、面接での応答内容に旬の話題を活かす 新幹線、注目観光列車、お客様獲得のための営業施策など			
4回	鉄道業界最新事情③	鉄道業界全般のトピックスを知る 小テスト			
5回	運輸業界最新事情	鉄道(JR、大手私鉄、第三セクター、路面電車など)や、バスなど、公共交通機関が抱える問題について考える			
6回	地方鉄道研究	地方鉄道の取り組みを学び、 面接での応答内容に旬の話題を活かす			
7回	鉄道システム	近年導入されている鉄道システムについて学ぶ			
8回	鉄道会社の財務諸表・IRを学ぶ	鉄道会社の財務諸表を分析し、応募会社のどの部門に強みがあるのかを理解する			
9回	鉄道会社の企業理念・CSRを学ぶ	鉄道会社の企業理念を理解し、鉄道従事者となる心構えをする また、CSR(企業の社会的責任)やCSV(共通価値の創造)を学ぶことで、志望動機に反映させる			
10回	鉄道業界の安全対策	鉄道業界で最も大切な「安全」やヒヤリハットを学び エントリーシートや面接で表現できるようにする			
11回	グループディスカッション事例研究	実際にあったお客さまの声から、鉄道従事者としてあるべき姿をディスカッションする			
12回	自然災害・安全施策	避けることのできない自然災害が鉄道にもたらす影響を知り、 鉄道員として取り組むことを学ぶ			
13回	期末テスト対策	鉄道従事員として最低限知っておきたい項目について学ぶ			
14回	期末テスト	期末テスト実施			
15回	前期のまとめ	前期のまとめ 鉄道従事員としての心構え			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	就職活動講座			クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石 佳代子			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。			授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道業界に絡めた自己分析をし自己PRと志望動機等を作成、鉄道業界から確実に内定を得ることを目指す。				
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト ・EMPLOYMENT NOTE				
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 プレゼンテーション・提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意により総合的に評価を行う			単位数	2
期末試験	2 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
1回	オリエンテーション	一年生の振り返り、前期説明 企業実習の振り返り			
2回	受験対策	座右の銘を知り、自身の価値観を分析する			
3回	受験対策	キャリアアンカーを学び、自身の価値観と志望企業の企業理念がマッチしているか確認する			
4回	受験対策	他己分析を行い、自分自身を客観視する力を養う			
5回	受験対策	プレゼンテーション制作① 企業研究 未内定者は受験対策			
6回	受験対策	プレゼンテーション発表① 企業研究			
7回	受験対策	プレゼンテーション制作② 企業研究 未内定者は受験対策			
8回	受験対策	プレゼンテーション発表② 企業研究			
9回	受験対策	プレゼンテーション制作③ 鉄道業界時事 未内定者は受験対策			
10回	受験対策	プレゼンテーション発表③ 鉄道業界時事			
11回	先輩の声 (運転士・車掌)	プレゼンテーション制作④ 社会情勢 未内定者は受験対策			
12回	先輩の声 (駅員)	プレゼンテーション発表④ 社会情勢			
13回	受験対策	プレゼンテーション制作⑤ 鉄道業界時事 未内定者は受験対策			
14回	受験対策	プレゼンテーション発表⑤ 鉄道業界時事			
15回	これまでの就職活動の振り返り	未内定者の振り返りと、今後の対策、方向性の確認 内定者は企業研究と就業準備の検討と対策 早期就業者に対する心構え			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	就職筆記試験対策 I			クラス	N
担当講師(フルネーム)	山本真美			実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験の筆記分野(SPI言語、一般常識、時事問題など)対策			授業形態	講義
到達目標	WEBテスト、適性検査、時事問題などにも対応できるように実力をつける				
使用テキスト	朝日キーワード就職2027 最新時事問題&一般常識				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	必ず復習する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 毎回テストを実施し解答と解説をします。解けなかった問題は必ず見直す 残りの時間は、時事問題用語解説、新聞コラムに取り組む			
2回	情報を分析する	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 先輩たちの受験報告書を活用していますか？各企業の試験問題の傾向がわかります			
3回	最新のニュース	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 試験当日は特に最新のニュースチェックを忘れずに			
4回	漢検二級レベル	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 就職試験にかかわらず、漢字は私たちの生活に欠かせません。漢検二級レベルを目指します			
5回	はじめにてあわてない	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 見慣れない問題がでることがあります。落ち着いて解きます			
6回	範囲を絞る	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 範囲を絞って、その分野をマスターする。達成感の積み重ねが大事			
7回	時間配分を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 解答時間は足りていますか？紙の試験問題の場合、解く前に試験問題の量のチェックも忘れずに			
8回	ニュースを読む	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」を考える			
9回	自分の意見を考える	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースの「なぜ？」から自分の意見を考える			
10回	意見交換をする	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ニュースを読んで相手の考えを聞く			
11回	SDGsを知る①	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る①SDGsとは？			
12回	SDGsを知る②	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る②17の目標			
13回	SDGsを知る③	・テスト(解答と解説)、時事問題用語解説 ・時事問題:SDGsを知る③2024年度の達成度			
14回	SDGsレポート作成	・「私達が実行するSDGs」レポート①			
15回	前期期末試験	・前期期末試験(30分) ・「私達が実行するSDGs」レポート②			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道・夜間総合観光科
科目名	就職筆記対策Ⅱ			クラス	N Y
担当講師(フルネーム)	新型コロナウイルス禍後テスト形式は テストセンター Web 鉄道系 ホテル 航空型企業の過去問を中心に問題が予想される問題をできるだけわかりやすく講義します。この科目は予習よりも復習に力を入れてください。SPI能力適性検査試験に合格しなければ面接には進めません。キツイけど一緒に頑張りましょう。			実務経験	無
授業概要(内容)				授業形態	講義
到達目標	鉄道系 ホテル 旅行系などの企業の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することができます。				
使用テキスト	テキスト 無し				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	テストセンター推論	論理命題 命題Xが正しければBも必ず正しいといえるか 統計資料(日本の輸入商品の増減割合 ある地域における電車・バス・マイカー通勤者の年度別割合) 運賃・料金・使用料金の計算(片道運賃・往復運賃・団体割引運賃、英会話、美術館入場料等を表を見て計算する)			
2回	テストセンター推論	リーグ戦(総当たり戦) トーナメント方式(勝ち上がり戦) 統計資料 集合(鉄道、航空機自動車などの利用者の人数をベン図を用いてそれぞれの領域を求める。集合理論特有の日本語の意味 少なくともの意味) 損益算(原価・定価・売価・利益率を求める公式)			
3回	テストセンター推論	平均算 食塩水の濃度分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
4回	テストセンター推論	損益算 データ入力と分数問題 推論(表を使った電車やバスの速度算ほか)1年次の速度算の応用・速度・距離・時間の関係 時速から分速・秒速を求める。速、秒速・分速から時速を求める。 追いかかけ算の公式など 表を短時間に読み取ることがポイント			
5回	テストセンター推論	重複組み合わせの公式を使った雑問 分割払い(仕事算と同様全体を1と考えるのがポイント 頭金・残金・ボーナス払い・分割回数等分数問題) $\sqrt{\quad}$ 計算と平方根(ルート2, 3, 5, 6などと分数計算 $\sqrt{\quad}$ と分数の混ざった数字の中から大小を比較する問題)			
6回	テストセンター推論	入館料金 割賦代金の計算 分数の計算 $\square$ がある計算(1次方程式)			
7回	テストセンター推論	資料解釈 表の読み取り 船舶料金とキャンセル料			
8回	テストセンター推論	文章問題と計算方法 複雑な集合問題 推論 確率(確率の意味と公式 確率は最少は0と同じか、0より大きい。最大は1と同じか1より小さい 確率P=求める場合の数÷全体の場合の数)			
9回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	この問題はペーパーとテストセンター双方の頻出問題 推論 大小・包含の関係(以下の推論で明らかに誤りか、与えられた条件だけでは断定できないものを選択 ハヤブサはキジより高い・キジはツバメより高い・カモメはキジより高い・ツバメが一番安い?カモメは何番目に高い)			
10回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論(発言の真偽 ABCDE5人の以下の発言のうち一人だけ嘘をついている。嘘つきは誰?A(Bの発言は本当?)B(Cの発言は嘘?)C(Dの発言は嘘?)D(Eの発言は本当?)E(Aの発言は嘘ではない?)			
11回	推論 WEBテスト 玉手箱 推論	推論 速度算 QRSTU各駅間の到着時刻と出発時刻を表から読み取り各駅間の平均時速を計算する。この問題は非常に有名な問題で、航空会社旅行会社やホテルにも出題可能性が高い。LMNOPQの6人の到着の前後遅刻者の数を推論する問題 STU3人のじゃんけんの拳の種類と勝敗を推論する問題 ものすごく時間がかかる。割り切って選択肢からしぼりこむしかない。			
12回	推論 WEBテスト	WEBテストはPC環境さえあれば、学校でも、自宅でもいつでも受験(能力検査試験なので受験ではなく、受験の字になります。)できます。計算機の使用が可能。とにかく短時間で多くの問題を解いていくので、電卓に慣れていなければ、問題をこなせない。問題によっては、暗算のほうが早い。方程式 推論 組み合わせなど 時間は非言語20分 言語12分 性格検査23分			
13回	推論 Web玉手箱 命題 平均算	論理命題 チュールリップ パラ 7階建ての建物の位置関係(休憩所 奇数階と偶数階) VWXYZ5チームのレースの結果 PQRSの4つ支社の在庫量 KLMNの4人が100点満点の国語と算数の試験を受けた結果、平均算からの各自の得点を推理			
14回	推論 WEB 玉手箱 Aが正しければ、BまたはCも必ず正しい	赤いカード3枚青いカード4枚 緑のカード4枚 カードは少なくとも9枚 赤 青 緑のカードが少なくとも3枚ずつはいついてるとき、以下の条件の下での推論 サイコロを3回ふった時の出た目の条件 Kら50			
15回	1年次2年次総復習	連立方程式 集合 確率 順列(円順列) 組み合わせ(重複組み合わせ) 食塩水などの公式の復習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科	
科目名	面接対策講座			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	橋本美智子			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動において選ばれる人材になるよう内面と外面の表現について講義と実技で学ぶ			授業形態	講義	
到達目標	希望の会社に採用される人材を目指す					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	就職面接について		1年生の振り返り 現在の状況を確認する			
2回	集団面接演習		面接実技 第一印象の重要性/話し方			
3回	集団面接演習		面接実技 話し方と表現			
4回	集団面接演習		面接実技 話し方と傾聴			
5回	振り返り		第1～4回までの振り返り			
6回	集団面接演習		討議			
7回	集団面接演習		討議			
8回	集団面接演習		討議			
9回	集団面接演習		期中評価			
10回	集団面接演習		期中評価			
11回	社会人として		現代における問題を知る			
12回	社会人として		現代における問題について考える			
13回	社会人として		発表			
14回	社会人として		発表			
15回	まとめ		これからの課題			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科・夜間総合観光科
科目名	サービス接客検定			クラス	NY
担当講師(フルネーム)	金森和彦			実務経験	有
授業概要(内容)	サービス検定を学び、社会人になるための準備をする			授業形態	講義
到達目標	サービス検定2級合格にむけて学ぶ				
使用テキスト	サービス検定1-2級実問題集				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	2 期末試験なし				
	テーマ		授業内容		
1回	サービス接客検定について		・サービス接客検定の必要性 ・顧客心理、応対の仕方、言葉遣い、立ち居振る舞いを学ぶ		
2回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
3回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(ケース問題)		
4回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
5回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(掲示問題)		
6回	過去問題解答		過去問題を解いて問題になれる(選択肢問題)		
7回	過去問題解答		模擬試験		
8回	過去問題解答		前回の模擬試験の結果により、苦手問題を演習		
9回	検定の答え合わせ		解答速報で自己採点をする		
10回	準1級のテストについて		試験内容の案内		
11回	観光業と接客		ケース問題を使って学ぶ ★鉄道・旅行会社・ホテルの感動のおもてなしとは		
12回	観光業と接客		敬語問題を使って学ぶ ・お客様、上司に対する敬語、ロープレ ・電話応対、ロープレ		
13回	観光業と接客		社会人のマナー講座 ・指示の受け方、報告の仕方、ロープレ		
14回	観光業と接客		好感のもたれる新入社員の自己紹介、座学→ロープレ		
15回	期末試験対策		全体復習と期末対策		

対象学年	2年	学期	通年(後期)	学科	鉄道科	
科目名	手話			クラス	N	
担当講師(フルネーム)	江口由香			実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	接客手話と聴覚障のお客様対応と手話表現を学ぶ			授業形態	講義&演習	
到達目標	聴覚障害者への理解と手話や筆談での対応法をはあくして仕事に活かせるようになる					
使用テキスト	手話を学ぼう手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	1 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	一日の生活の表現	時の表し方1				
2回	一年のことを話しましょう	時の表し方2				
3回	パーティのことを話しましょう	日常生活の表現 疑問詞の使い方				
4回	旅行のことを話しましょう	旅行に関する手話				
5回	病院のことを話しましょう	病気に関する手話 トラブル時の対応				
6回	職場のことを話しましょう	職場に関する手話と必要性				
7回	接客手話	聴覚障害のあるお客様に対するサービスの在り方				
8回	聴覚障害の暮らし	聴覚に障害がある人、デフファミリーの生活				
9回	聞こえない世界	聞こえることと聞こえないこと				
10回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
11回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
12回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
13回	卒業制作への取り組み	学んだ手話をおうようしての発表のための活動				
14回	実技テスト兼発表	1年間の集大成としての発表会				
15回	まとめ	手話学習まとめ				

対象学年	2年	学期	通年(前期)	学科	鉄道／夜間総合観光	
科目名	コンピュータ			クラス	NY	
担当講師(フルネーム)	財津克宜			実務経験	有(IT業界勤務歴)	
授業概要(内容)	コンピュータの基本的構成やよく使うソフトウェアを知る メールやクラウドの使い方を習得しIT全般のスキルアップをはかる			授業形態	講義&演習	
到達目標	コンピュータの構成を理解しメールやクラウドなどのユーティリティを正しく理解し活用できるようにする					
使用テキスト	オンラインマニュアル					
成績評価方法	課題／小テスト70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	2 期末試験なし					
テーマ		授業内容				
1回	パソコンの基本	各種システムのログインIDとパスワード、基本操作 (初期設定、フォルダ／ファイル構造、コピーペーストなど) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
2回	パソコンの基本	パソコン各部の理解 (内部構成、USBアダプタや接続アダプタなど) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
3回	メール送受信	Outlookによる送受信 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
4回	メール送受信	スマホアプリからの送受信(インストールと初期設定) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
5回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleDrive/OneDrive(共有フォルダ)の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
6回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleChrome/MicrosoftEdgeの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
7回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleClassroomの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
8回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
9回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
10回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
11回	よく使うソフトウェアの紹介	Office365の使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
12回	よく使うソフトウェアの紹介	テキストエディタ(さくらエディタ) ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
13回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleMeetの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
14回	よく使うソフトウェアの紹介	GoogleFormの使い方 ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				
15回	コミュニケーションツール	仕事でよく使うその他のコミュニケーションツール ※習得達成した学生はタイピング、デザイン、Office365/Googleツールの演習を行う				

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	コミュニケーションイングリッシュ			クラス	N
担当講師(フルネーム)	Nilay Tam			実務経験	無
授業概要(内容)	Making various presentations about oneself with a lot of partner work. A lot of vocabularies. Practicing role plays. Understanding various culture points.			授業形態	講義&演習
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.				
使用テキスト	Challenge book #4、Vocabulary Book (Verb)				
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ		授業内容		
1回	Orientation Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Transportation Dialog: 1		Orientation: Explanation about Class rules Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Verbs starting with A, Role play for transportation dialog 1		
2回	Warm Up: P1, Vocabulary: P1 Challenge Book: P7-8 Transportation Dialog: 1		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation and Q&A: Beginner's Test, Self-introduction Sentences using Verbs starting with A, Role play for transportation dialog 1		
3回	Warm Up: P1, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Transportation Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Verbs starting with B, Role play for transportation dialog 2		
4回	Warm Up: P2, Vocabulary: P2 Challenge Book: P9 Transportation Dialog: 2		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Personal Information Sentences using Verbs starting with B, Role play for transportation dialog 2		
5回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Transportation Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Verbs starting with C, Role play for transportation dialog 3		
6回	Warm Up: P2, Vocabulary: P3 Challenge Book: P10 Transportation Dialog: 3		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: Introducing a Friend Sentences using Verbs starting with C, Role play for transportation dialog 3		
7回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Transportation Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Verbs starting with D, Role play for transportation dialog 4		
8回	Warm Up: P3, Vocabulary: P4 Challenge Book: P11 Transportation Dialog: 4		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Family Test Sentences using Verbs starting with D, Role play for transportation dialog 4		
9回	Warm Up: P3, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Transportation Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Verbs starting with E, Role play for transportation dialog 5		
10回	Warm Up: P4, Vocabulary: P5 Challenge Book: P12 Transportation Dialog: 5		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Family Presentation Sentences using Verbs starting with E, Role play for transportation dialog 5		
11回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Verbs starting with F, Role play for transportation dialog 6		
12回	Warm Up: P4, Vocabulary: P6 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Sentences using Verbs starting with F, Role play for transportation dialog 6		
13回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Verbs starting with G, Role play for transportation dialog 7		
14回	Warm Up: P5, Vocabulary: P7 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7 Review for the test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Sentences using Verbs starting with G, Role play for transportation dialog 7		
15回	Warm Up: P5, Vocabulary: P8 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8, Test		<b>Oral Test</b> Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab, Q&A: Cuisine Interview Verbs starting with H, Role play for transportation dialog 8		

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、鉄道、エアライン科
科目名	中国語			クラス	ENPクラス
担当講師(フルネーム)	青山 祐子			実務経験	無
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について			授業形態	講義
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることが目標です。				
使用テキスト	はじめまして！中国語(白水社)				
成績評価方法	・期末試験 50% 平常点(小テスト+発表 30% 授業態度+欠席回数等 20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。			単位数	2
期末試験	1 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	中国のについての理解	中国および中国語についての理解 教室の指示言葉 知って便利な呼称 ・ 知って便利な挨拶			
2回	中国語の発音	発音の練習(四声) 発音の練習(単母音) 発音の練習(唇音、舌尖音、舌根音、舌面音、そり舌音、舌歯音)			
3回	中国語の発音”母音” 声調の変化	発音の練習(重母音、鼻母音) 第3声+第3声→第2声+第3声などの練習 ※1回目小テスト			
4回	第1課校門で	1. 人称代名詞 2. 動詞”是”を使った文 3. ”吗”を使った疑問文			
5回	トレーニング1 第2課廊下で	4. 動詞述語文 5. 疑問詞疑問文(”什么”・”谁”) 6. 省略疑問文 ◇人の呼び方			
6回	トレーニング2 第3課キャンパスで	7. 指示代名詞 8. 形容詞述語文 9. ” ~的 ”			
7回	トレーニング3 第4課携帯を見ながら	10. 語気助詞”吧” 11. 所有を表わす”有” 12. 反復疑問文			
8回	トレーニング4	13. 数 詞 ※2回目小テスト			
9回	第5課学生食堂で	14. 場所を表わす代名詞 15. 存在を表わす”有”			
10回	トレーニング5	16. 副詞”也”と”都” 17. 二重目的語文 ◇方位詞			
11回	第6課王先生の研究室 で	18. 動詞”在” 19. 動詞の重ね型 20. 時を表わす語の位置 ◇時を表わす語(1)			
12回	トレーニング6 第7課コンビニで	21. 量 詞 22. 実現・完了を表わす”了” 23. 助動詞”想” ◇”几”と”多少”			
13回	トレーニング7 前期総復習	今まで勉強した内容についてのおさらい			
14回	期末テスト	自己紹介の表現			
15回	業務上で使う会話練習	現場で実際に使う会話練習			

対象学年	2年	学期	前期のみ	学科	鉄道科
科目名	企業実習1～2			クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生 義一			実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	学外での実習を通して、実務の習得や社会人として必要な能力や責任を理解する			授業形態	実習
到達目標	実務に必要な能力を身につけ、社会人としての心構えと自覚を持つ				
使用テキスト	なし				
成績評価方法	成績評価はしないが、インターンシップ先の企業からの評価結果を学生に伝え、必要と判断した場合は、面談等の指導を実施する。			単位数	各1
期末試験	2 期末試験なし				
	テーマ	授業内容			
各1～5日間 (2回)	インターンシップに参加する上での基礎知識や心構えを習得する。 就業体験をとおして、実際の現場で鉄道業界の業務、一日の流れを知り、社会人としての責任感を理解する。				